

# TANOななっちゃ活動報告

## [はじめに]

宮崎市田野町の自然と文化に根ざした「TANOななっちゃ」。「TANOななっちゃ」は、地域の未来を育む拠点を目指しています。0歳から年齢制限はなく、誰でも自由に参加できるのが特徴です。ふらっと立ち寄れば遊びとつながる場があり、ねらって来れば深い学びや気づきがある。

――子どもも大人も共に育ち合う実験の場です。

今回も田野児童センターにおいて、TANOななっちゃを実施させていただきました。

44名の子どもたちや保護者が訪れ、自由遊びや森のアトリエ、焚き火、青空図書館を思い思いに楽しんでくれました。

焚き火では、アウトドアクッキングに挑戦しました。焚き火でパンや卵を調理して、みんなで火を囲みながら美味しくいただきました。とても温かいひとときとなりました。

## [実施内容]

### TANOななっちゃ

日時:令和8年1月10日(土) 10時～15時

場所:田野児童センター

今回は、自由遊びや自由工作、青空図書館、焚き火でクッキングを実施しました。

## [感謝とお礼]

今回の活動では、田野町内にあるエーケーエムモンドール様からパンのご寄付、下野工務店様より木工ボンドのご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。



## ○地域の縁側

たき火のまわりには、さまざまな人が集まります。玉子を焼く子、ソーセージを焼く子、パンを配ってくれる子、親以外の人が赤ちゃんを抱っこしてくれる人、火を見守る人、子どもを見守る人、自由に遊ぶ子。いろんな人が、自分のまなざしの延長線上にいる誰かと関わり合っている。縁側のような温かい関係性が生まれます。



## ○親子も、受験生も

今回の焚き火deクッキングには、子育て支援センターを利用中の親子や、寺子屋終わりの中学生が立ち寄ってくれました。短い時間でしたが、食と火を通して、交流を育むことができました。

もうすぐ受験を控えた中学生。是非、ベストを尽くしてほしいと思います。



## ○俺、生きてる

自由工作の一コマ。1人の少年がやる気満々で、廃材を使い「剣」を作り上げていました。私が、「楽しそうだなあ〜!」と声をかけると、少年は「うん、俺、今を生きてる!楽しい!」思いがけない言葉が返ってきたので、私は驚きました。考えさせられる言葉でした。TANOななっちゃでは、大人が子どもたちから学ぶような出来事が起こります。



## [今回のまとめ]

今回のTANOななっちゃは、田野児童センターのご協力だけでなく、田野町にあるエーケーエムモンドール様からのパンのご寄付、下野工務店様からの木工ボンドのご寄付がありました。さらに、来場された保護者の方からお菓子の差し入れもいただきました。

多くの方から、活動への温かいご理解とご支援をいただいております。本当にありがとうございます。地域の温かいお裾分けを感じながら、今年度最後のTANOななっちゃを、参加した子どもたちとともに味わいました。

来年度も、引き続き、TANOななっちゃの活動を通して、遊びと学び、つながりの場を作ってまいります。

来年度もどうぞ温かく見守っていただけたら幸いです。